

高知市地域公共交通会議

地域内フィーダー系統
事業評価(令和3年度)

高知市基礎データ

合併状況: 平成17年1月に2村(鏡村・土佐山村)を編入合併
平成20年1月に1町(春野町)を編入合併
人口: 323,218人(令和3年10月1日現在) 面積: 309.00km²

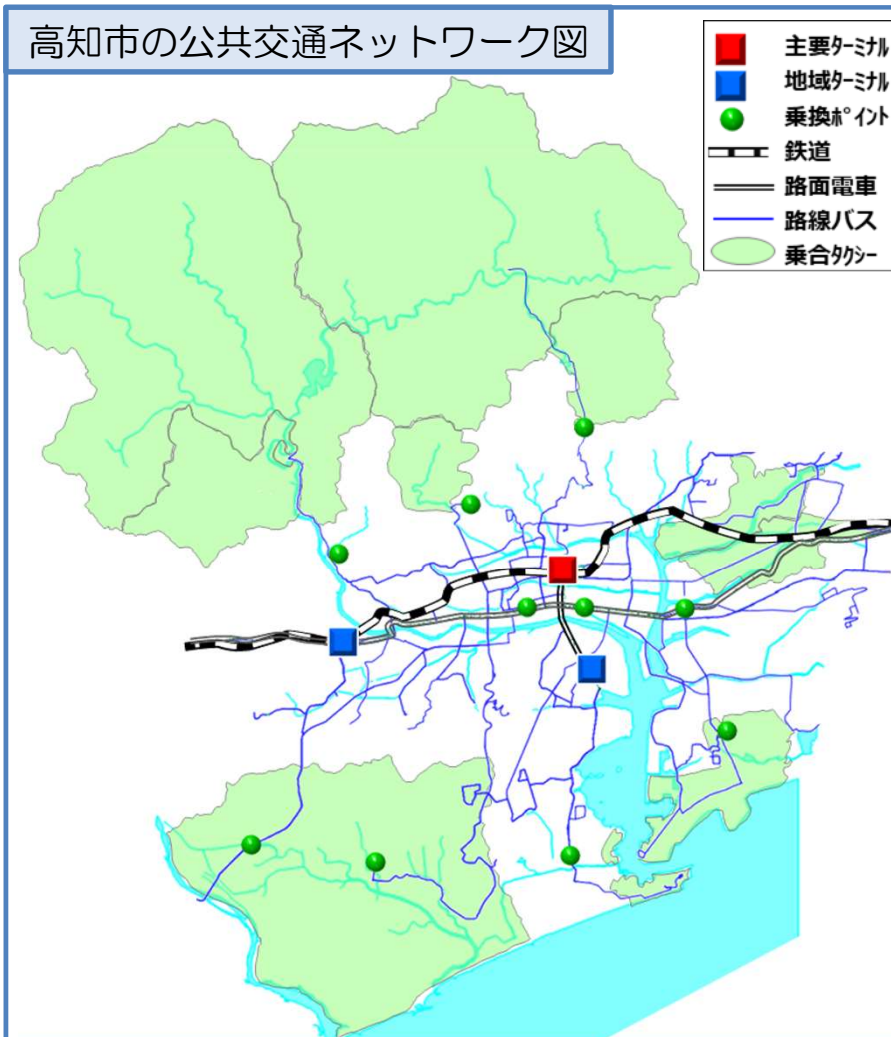
地域の交通の目指す姿(事業実施の目的・必要性)

別添1-2参照

高知市における主な公共交通概要

- 鉄道
 - ・JR土讃線
- 路面電車
 - ・はりまや橋交差点を經由する伊野-後免線,
高知駅-棧橋線
- バス(幹線)
 - ・はりまや橋交差点を中心に高知市周辺市町又は市内
周辺部同士を結ぶ民間事業路線
- デマンド型乗合タクシー(路線運行, 区域運行)
 - ・鏡地域 ・土佐山地域 ・春野地域 ・円行寺地域
 - ・御畳瀬地域 ・浦戸地域 ・長浜地域 ・行川地域
 - ・久重地域 ・大津地域 ・布師田地域 ・三里地域

高知市の公共交通ネットワーク図



高知市地域公共交通会議

地域内フィーダー系統
事業評価(令和3年度)

協議会の構成員

- ・学識経験者
- ・四国旅客鉄道
- ・とさでん交通(株)
- ・(株)県交北部交通
- ・高知市ハイヤー協同組合
- ・身体障害者連合会
- ・町内会連合会
- ・老人クラブ連合会
- ・四国運輸局
- ・高知県警察
- ・私鉄高知県連合会
- ・道路管理者(国・県・市)
- ・高知市

前年度の事業評価における課題

○住民ニーズに対応した運行
地域から運行に関する提案等があった場合は、地域の会や地域公共交通会議で協議を行い、よりよい地域交通を目指す。

定量的な目標・効果

(目標)

- 鏡地域 年間利用者数 2,008人(167人/月)
- 土佐山地域 年間利用者数 2,226人(185人/月)

(効果)

- ・区域運行であることで利便性が向上し、運行時刻を路線バスの発着に合わせているため、市中心部への移動手段としても活用でき、外出促進や高齢者の健康増進にもつながる。
- ・土佐山地域においては、地域内の学校への通学バスや、診療所の患者送迎バス等をデマンド型乗合タクシーへ集約することにより、地域に根差した移動手段として定着させる。

フィーダー系統図



「定量的な目標・効果」達成のための具体的な取組

- ・ 地域住民が参加する地域の会で意見交換を行い，地域住民の意見を聴取した。
- ・ 土佐山学舎の学校関係者や市の教育委員会と協議をし，保護者向けの説明会を開催した。

自己評価

事業実施の適切性

乗合タクシーは，バスの入れなかった狭隘な道まで進入することができ，また，区域運行であることから路線バスよりも格段に広い範囲の住民が利用でき，高齢者でも出かけやすいという安心感もあるため，地域交通の役割を果たしている。

「定量的な目標・効果」の達成状況

- ・ 鏡地域…年間の利用目標2,008人（167人/月）に対し，1,573人（131人/月）の実績となった。
新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け，特に市街地近くまで運行する便（鳥越便）の利用が目標を大きく下回ったことを主因に，利用者数が目標を下回った。
- ・ 土佐山地域…年間の利用目標2,226人（185人/月）に対し，3,643人（303人/月）の実績となった。
平成30年度から順次集約した，地域の診療所やデイサービスの送迎機能が定着し，利用者の増加につながった。新型コロナウイルスの感染者数が増加した時期は，市街地へ行くバスに乗り換える利用者が微減したが，地域内での利用者は影響を受けなかった。
(なお，地域内のスクールバス機能を集約した通学便は，地域間幹線バス系統との乗り継ぎを想定していない運行ダイヤであるため，目標利用者数及び実績数からは除外している。)

今後の事業に向けた改善点

鏡地域は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、利用者数が目標を下回った。

一方で、土佐山地域は、デマンド型乗合タクシーに集約した診療所等の送迎機能が定着し、目標を達成した。

今後も新型コロナウイルスの感染状況を注視しつつ、引き続き地域とともに利便性向上に努め、地域住民や学校関係者との協議の場や、地域公共交通会議において、状況報告や意見聴取するなどして、地域のニーズに応じた運行ができるよう改善を図る。

その他PRポイント